RJC 年次監査結果 2023年

目次

1. **会社概要**

2. **タグ・ホイヤーのコミットメント**

   A. 人権

   B. 調達

   C. 倫理

   D. キーファクター

   a) ダイバーシティ＆インクルージョン (D&I)

   b) Viva Technology (ビバ・テクノロジー)

3. **持続可能な 開発目標 (SDGs)**

4. **用語集**

1. 会社概要

1860年の創業以来、タグ・ホイヤーは、正確なクロノメトリーに技術革新を融合させ続けてきました。タグ・ホイヤーはまた、スポーツの世界、特にモーターレーシングとも密接な関係を築いてきました。タグ・ホイヤーが世界屈指の高精度な計時機器を世に送り出してきた理由もここにあります。ブランドの全コレクションのあらゆるモデルが、その卓越性の証明です。タグ・ホイヤーの時計はいずれも、時計製造業界の最前線に立つ最先端の研究の成果です。

TAG Heuer Branch of LVMH Swiss Manufactures SAは、LVMH Group Moët Hennessy Louis Vuitton SE (以下「LVMHグループ」) の傘下にあります。TAG Heuer Branch of LVMH Swiss Manufactures SAは、スイスの本社と工場に加えて、世界各地に約20の子会社を擁しています。

2023年末現在、タグ・ホイヤーの販売網は世界109のブティックで構成されるまでになっています。

2. タグ・ホイヤーのコミットメント

A. 人権

タグ・ホイヤーは、その事業活動が人権を十分に尊重し、基本的権利の発展および維持に不可欠な公衆衛生および社会衛生の状況改善に貢献することを保証しています。タグ・ホイヤーは、起こりうる悪影響を防止または是正するために、その活動が社会に及ぼす直接的または間接的な影響を特定する警戒を常に怠らないことを誓っています。

タグ・ホイヤーは、世界人権宣言を尊重および推進し、国連グローバルコンパクトおよびUNIFEMが共同で作成した女性のエンパワーメント原則を遵守しています。タグ・ホイヤーは、その影響力の範囲内で、こうした文書で推進されている価値観、自由、基本的権利を支援しています。

人権の尊重は、従業員、パートナー、サプライヤー、請負業者、その他タグ・ホイヤーの事業、製品、サービスに直接関わる全ての関係当時者にとって、基本的に期待されるものであると考えられています。

タグ・ホイヤーの人権に関するコミットメントはすべて、人権ポリシーに記載されており、タグ・ホイヤーの ウェブサイトでご覧頂けます。

毎年、LVMHグループは、才能とスキルの開発
(戦略的ノウハウの保持、伝統工芸スキルの継承)、差別の防止と個性・ダイバーシティ (多様性)・インクルージョン (包摂性)の尊重、職場における生活の質の継続的改善
(労働条件の改善、柔軟性のある働き方とワークライフバランスの支援)、公正な賃金の保証、地域社会の支援などに関するグループのコミットメントと実績を分析し

、外部監査人による検証を受けた詳細なCSR報告書を発表しています。この報告書の作成にあたり、タグ・ホイヤーは、こうした項目に関する年次CSR報告書をLVMHグループに毎年提出しています。

今回、RJCの要求事項に従い、タグ・ホイヤーは特にハラスメントと差別を考慮に入れて、人権に関するリスク分析を　行いました。是正措置計画の実施が求められるリスクは特定されませんでした。こうしたリスクは全て毎年見直され、必要に応じて是正措置計画が更新されます。

B. 調達

タグ・ホイヤーは、特に貴金属とダイヤモンドを初めとする原材料の供給に関して、自らの活動が社会に影響を及ぼす可能性があるものであることを認識しています。このためタグ・ホイヤーは、人権を尊重した倫理的かつ責任ある方法で活動を行うための責任ある調達ポリシー　(タグ・ホイヤーのウェブサイトでご覧頂けます)を定めています。

タグ・ホイヤーのサプライヤーは全て、LVMHサプライヤー行動規範
(タグ・ホイヤーのウェブサイトでご覧頂けます)
に規定されている倫理原則を遵守し、自社のサプライヤーおよび協力会社にもこの原則を遵守させることを保証しなければなりません。サプライヤー行動規範の内容を承諾し遵守する義務が、契約条件の一部を構成しています。この行動規範は、児童労働の禁止、強制労働や違法労働の禁止、差別やハラスメントの禁止といった基本的人権の尊重を保証し、賃金条件、労働時間、組合結成の自由、地域社会の保護なども規定しています。この規範はさらに、LVMHグループの事業活動における環境コンプライアンスとパフォーマンスについても詳述しています。さらにこの規範では、企業倫理とインテグリティ
(汚職・テロ資金供与・マネーロンダリング撲滅、 贈答と招待に関するポリシー、競争の尊重、利益相反防止等) についての要求事項も規定されています。

タグ・ホイヤーは、2005年からRJC　(責任ある宝飾のための協議会)に加盟し、2011年に認証を受けました。RJCは、採掘から流通に至るまで、宝飾品業界での責任ある慣行を推進しています。RJC認証は、タグ・ホイヤーの倫理的・社会的・環境的慣行を検証・監視し、サプライチェーン全体を通じて人権が尊重されていることを保証するものです。タグ・ホイヤーは、どのモデルの製造においてもこの点に特別な注意を払っています。このためタグ・ホイヤーは、責任ある行動をとり、国際的な認証制度を通じて紛争ダイヤモンドの流通を阻止することを目的に、政府、産業界、市民社会が力を合わせて取り組む制度であるキンバリープロセスの加盟国に拠点を置く信頼できるサプライヤーとのみ取引をすることを約束しています。

タグ・ホイヤーは、紛争の影響を受けた地域やリスクの高い地域からの責任ある鉱物サプライチェーンのために、OECDが定めたリスクに基づくデューデリジェンスの5つの段階を遵守しています。このように、タグ・ホイヤーは、他者によりもたら

される危害を防ぐために自らの影響力を行使しています。

注意義務の一環として、タグ・ホイヤーはリスクアセスメント管理システムを構築し、LVMHグループの苦情処理メカニズムにアクセスできるようにすることで、タグ・ホイヤーの調達ポリシーに関連するあらゆる悪影響を防止・軽減することを目指しています。

リスク評価

タグ・ホイヤーは、LVMHグループと共に、RJCの原則に基づき、サプライチェーンにおける全てのサプライヤーの社会的・人権的リスクを監視しています。リスクアセスメントを実施するため、タグ・ホイヤーは、各サプライヤーに、認証の取得状況、CSRポリシーの有無、デューデリジェンス
マネジメント、OECDのガイダンスに沿ったリスク
アセスメント、国連指導原則に沿った人権の尊重などのテーマを網羅した自己評価アンケートに回答するよう求めています。リスクのレベルに応じた適切な是正措置計画が作成され、毎年見直されます。繰り返しになりますが、タグ・ホイヤーの全てのサプライヤーにサプライヤー行動規範に署名する義務があります。

発生する可能性のあるリスクは、社内のチームが、アンケートに対するサプライヤーからの回答を分析することによって、また、こうしたサプライヤーの活動や認証(RJCなどの)
レベルを知ることによって評価されます。2023年度は、特に重大なリスクは特定されませんでした。

サプライヤー行動規範には監視条項が含まれており、タグ・ホイヤーは行動規範に定められた全ての原則についてサプライヤーを監査する権利を与えられています。サプライヤーは、特定した不適合を改善または解決することを約束しなければなりません。各サプライヤーは、OECDのガイドラインに沿って、自社のサプライチェーン全体でデューデリジェンス
プロセスを実施することにより、貴金属とダイヤモンドの調達に特に注意を払いながら、社内の手続きとプロセスを強化することが奨励されています。

C. 倫理

内部統制部門は、潜在的な影響の発生を抑えることを目的とした是正措置を実施する際のリスクマップを毎年作成しています。この分析は、内部統制部門の業務の基礎となるものであり、同部門は、継続的な改善を目指す中で、こうした是正措置計画が合理的に実施されるよう取り組んでいます。このアプローチは、適用される法律や規制を遵守し、会計・財務・社会情報の信頼性を保証しながら、有形・無形の企業資産の保護を効果的に管理することを目指すものです。

2023年度、執行委員会は、内部統制部門の助言に基づき、以下の主要なリスクを含

むリスクマップの妥当性を確認しました。　現場での重大事故　環境負荷　データ損失と技術的障害

こうしたリスクの発生と影響を軽減するため、社内に特定のポリシーと手順が確立されています。現在までのところ、リスクは制御されていると考えられます。是正措置計画は、内部統制部門によって継続的に見直されています。

さらにタグ・ホイヤーは、商慣行や取引においてマネーロンダリングやテロ資金供与が行われるのを防ぐため、Know Your Customer (KYC) ポリシーおよびKYCに関する手順を定めています。

さらにタグ・ホイヤーは、オープンで透明性の高い企業文化を推進しており、全てのステークホルダー専用のオンライン
インターフェースである「LVMHアラート
ライン」を通じた内部告発システムを採用しています。このシステムにより、行動規範、社内ガイドライン、原則、ポリシー、適用される法律や規制に対する違反を知った従業員または社外の第三者が、社内手続き、倫理原則、適用される法律や規制に対する既存のまたは潜在的な違反を、安全に、匿名で、かつ、完全に秘密が守られた方法で報告することが可能になります。さらに、タグ・ホイヤーの従業員は、上司、タグ・ホイヤーの人事部長、
倫理・コンプライアンス担当者、またはLVMHグループの倫理・コンプライアンス担当ディレクターに報告することもできます。

LVMHグループは、問題意識を高めるために善意でこうしたチャネルを利用した者に対しては、その後に告発内容が不正確または根拠がないことが証明されたり、起訴や制裁につながらなかったりした場合であっても、何ら懲戒的な処分は行わないことを保証します。

社外のステークホルダーは、LVMHグループの担当者に懸念を伝えることができます。

このプラットフォームにはこちらのリンクhttps://alertline.lvmh.comからアクセスできます。

D. キーファクター

a) ダイバーシティ＆インクルージョン (D&I)

2023年度、タグ・ホイヤーは、LVMHグループの目標と目的に沿って、ダイバーシティ＆インクルージョン (D&I) の課題を戦略の中心に据えました。

これを達成するため、タグ・ホイヤーは、以下の3つの柱に基づくグローバルな計画を策定しました。1. 人材 2. 文化 3. ブランド -
これは、従業員一人ひとりが尊重され、大切にされ、包摂されるという共通のコミットメントに基づいています。

タグ・ホイヤーのD&I戦略は、経営陣全体によって支持されており、世界中の全従業員を対象とした以下の2つの必須トレーニングコースを含む、明確な研修計画を伴っています。

- 2023年5月から展開されている無意識の偏見に関するオンライントレーニングコース

- 2024年から展開が予定されている、従業員に継続的に、偏見とその影響に対処するためのツールを身につけさせ、仲間であることの重要性を教える実践的なワークショップ

さらに、その取り組みを支援し、拡散させ、あらゆる人に関わりのあることとするためのD&Iチャンピオンのコミュニティが2023年11月に発足しています。

b) Viva Technology (ビバ・テクノロジー)

2023年6月、ビバ・テクノロジーのパートナーであるタグ・ホイヤーは、イノベーションとスタートアップに特化したこの見本市の第7回目のハイライトのひとつとなりました。ドリームボックスとLVMHコートでは、LVMHグループの18ブランドが25のイノベーションを発表しました。600m²の広さの中で没入型エコ体験を提供した「ドリームボックス」では、LVMHのミッションである「Know, Do, Dream (知る、行動する、夢見る)」に貢献する最新のイノベーションが紹介されました。一方、LVMHはスポーツ業界のイノベーションを紹介するイベント「LVMHコート」のイベントに参加しました。

タグ・ホイヤーとLVMHグループは、Epic Games社とApple社との2つの戦略的パートナーシップを発表することができました。これは、LVMHグループのクリエイティブなパイプラインを変革し、特にiPhoneのTap to Pay機能を通じて顧客に没入型の体験を提供することを目指しています。展示されたイノベーションの中には、LVMHコートのパッティンググリーンでユニークな体験を提供する、ゴルファー専用の機能を備えたタグ・ホイヤーのスマートウォッチもありました。この見本市ではまた、革新的なスタートアップを表彰するLVMHイノベーション アワードなど、サステナビリティへの取り組みにもスポットライトが当てられました。

技術革新に加え、ビバテックは、メゾン ヴーヴ・クリコの「ボールド ウーマンアワード」などの取り組みにより、LVMHグループの女性起業家へのコミットメントも強調するものとなっています。

3. 持続可能な 開発目標 (SDGs)

LIFE (LVMH Initiatives For the Environment)

2020プログラムの一環として発足したLIFE
360プログラムは、今後3年、6年、10年というスパンでLVMHグループの環境戦略を推進する、新たな羅針盤となります。

すでに27年間にわたって、LVMHは環境保護への取り組みを成長戦略の柱に掲げてきました。2012年にLIFE (LVMH Initiatives For the Environment/環境に対するLVMHのイニシアティブ)
プログラムを始動してから、この戦略はさらに加速し、持続可能な成長という概念はグループ傘下のメゾンの戦略計画の中にしっかりと定着しています。

2016年、LIFEプログラムは環境パフォーマンス改善への取り組みをよりいっそう強化しました。期限を2020年に設定し、全てのメゾンが共有する4つの具体的な目標を定めました。製品製造に関連する環境パフォーマンスの改善、原材料の調達過程において最高レベルの基準の適用、そして、全拠点における環境パフォーマンス指標の向上と、CO2の排出量削減です。

特に、LVMHはSBTIi (Science Based Target Initiative)
に対して、エネルギー消費による温室効果ガス (GHG) 排出量を2026年までにScope 1と2のトータルで50%削減、2030年までにScope
3で55%削減することを約束しています。このようにLVMHは、2016年11月に発効したパリ協定に適合し、2050年までにカーボンニュートラルを実現するというEUの目標達成に貢献する低炭素世界に向かう軌道に乗っています。この点に関してLVMHは、あらゆる天然資源を正確に把握し、その利用を最適化し、効率を向上させるために用意されたプロセスを実施しています。

こうした目標は達成されただけでなく、目標値を超える結果ももたらされました。そこでLVMHは、LIFE 2020プログラムの継続にあたり、さらに野心的な計画、LIFE 360を設定しました。この新たな戦略は、2023年、2026年、2030年という3つの期限と、以下の4つの柱で構成される製品に関する行動目標を掲げています。

生物多様性の保護：ユネスコとのパートナーシップによる『人間と生活圏計画』のサポート、ならびに、ワイン & スピリッツ事業で展開している再生農業のパイロットプログラムの推進という、2つのアクションを中核として取り組みます。LVMHはこの他にも、森林保護団体Canopyとのパートナーシップを結び、森林保全活動に取り組んでいます。

気候変動に対する取り組み：
LVMHは、エネルギー消費量のパフォーマンス改善に向けた努力を引き続き継続していきます。製造拠点や販売店舗でのCO2排出量にフォーカスし、とりわけ、製品の製造に関わるものではなく、輸送や素材調達、使用方法といった製品のライフサイクルにおけるさまざまな過程での排出量の削減を目指します。

循環経済の推進：売れ残った商品や、在庫素材を活用した衣類の製造、代替素材の開発研究など、リサイクルシステムの確立に取り組みます。

透明性の保証：製品のトレーサビリティに関する情報をよりいっそう求める
社会のニーズに応えます。

LVMHグループの一員として、タグ・ホイヤーは、LIFE 360プログラムの要求事項を満たすための措置を講じ、自社のマニュファクチュールおよび全世界の拠点でLVMHグループの省エネガイドラインを適用しています。

さらに、タグ・ホイヤーは、2022年8月14日にISO14001認証を取得しています。

ISO14001は、環境マネジメントシステム (EMS) を実施するための自主的な国際規格で、EMS に対する要求事項を以下のように明確に定めています。

- 環境への著しい影響を判断する。
- 環境ポリシーを策定する。
- 環境目標を設定する。
- 規制遵守を考慮する。
- 環境ポリシーに定めたコミットメントを尊重することができる新しいプロセスを確立する。
- 環境パフォーマンスを向上させるために必要な措置を講じる。

4. 用語集

KYC = Know Your Customer (顧客の本人性確認)

LVMH = Louis Vuitton Moët Hennessy (ルイ・ヴィトン モエ・ヘネシー)

LIFE 360 = LVMH Initiatives For the Environment (環境に対するLVMHのイニシアティブ)

OECD = Organization for Economic Co-operation and Development (経済協力開発機構)

UN = The United Nations (国際連合)

RJC = Responsible Jewelry Council (責任ある宝飾のための協議会)

発行日：2023年12月7日 – E&C委員会

作成者：タグ・ホイヤー内部統制部門 - Martin Aurouze / Valérie Laroche